

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

## ジェットスター・ジャパン、名古屋および大分就航

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき)は、3月31日より名古屋および大分路線の運航を開始しましたことをお知らせいたします。

ジェットスター・ジャパンは本日より東京、大阪、名古屋という3大都市圏全てをネットワークに持ち、北は北海道から南は九州・沖縄まで就航地を持つLCCとなります。また5月には鹿児島、6月には愛媛県の松山にも就航を予定しており、温泉旅行をとっても、大分の別府温泉や湯布院のほか、鹿児島や松山に行くこともできます。今後は従来からの低運賃に加え、成田と関西をハブとするジェットスターグループ国際線への接続性向上と国内路線の更なる拡充により、お客様への選択肢拡大し、LCCの本格普及を推進します。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、次のように述べています。

「3大都市圏で唯一のLCC空白地帯であった名古屋とマーケティング活動において多大なるご協力を頂ける大分にいち早く就航できることを大変うれしく思います。メリハリ消費で有名な名古屋にはLCC文化が根付きやすいと思います。また、県庁をはじめとする地元の皆さまと一緒に観光促進に取り組んでくださる大分には大きな期待を寄せています。今後は大分における成功事例を全国に応用し、低運賃の訴求と併せて、今まで以上に新規需要の開拓に努めたいと思います。」

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会、中部国際空港記者会、番町記者クラブ、大分県政記者クラブ、鹿児島県政記者クラブへ配布しています。

### <ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長しているLCCです。ジェットスターグループは日本、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナムに航空会社を有し、2013年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の約60都市に週3,000便を運航しています。2012年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,060万人超のお客様にご利用頂きました。

### <ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間の就航を開始したLCCであり、2013年3月より名古屋と大分に就航し、5月より鹿児島、6月より松山にも就航を予定しています。国内線就航時には、A320型新造機3機(180席)で運航を開始しており、2014年末までに24機まで増強する予定です。また、2013年には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。